

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972100337
法人名	社会福祉法人 香南会
事業所名	グループホーム せんだんの里
訪問調査日	平成 19年 10月 23日
評価確定日	平成 20年 2月 6日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月9日

【評価実施概要】

事業所番号	3972100337		
法人名	社会福祉法人 香南会		
事業所名	グループホーム せんだんの里		
所在地 (電話番号)	高知県香南市野市町中ノ村770番1 (電話)0887-57-7088		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年10月23日	評価確定日	平成20年2月6日

【情報提供票より】(19年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 1 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15人	常勤 7人, 非常勤 8人, 常勤換算 12.1人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/単独○	○新築/改築
建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	○ 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	-
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	800	円

(4) 利用者の概要(10月23日現在)

利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	3名	要介護2	5名
要介護3	7名	要介護4	3名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 85歳	最低 75歳	最高 93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	赤岡医院・同仁病院・大島歯科医院・訪問看護ステーションあおぞら
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームと道路を隔てて小学校のグラウンドがあり、学校のチャイムや子供たちの騒ぐ声が聞こえ懐かしい思いにさせてくれる。学校から聞こえてくる子供たちの声はコミュニケーションの糸口になったり、またリビングのガラス窓からは季節をいながらに感じさせてくれる自然があるなど感性を刺激するいい環境である。法人では外部研修への参加はもとより内部研修にも積極的に取り組んでおり、全職員の質とサービスの向上に取り組んでいる。共用空間、居室ともに清潔感があり職員の姿勢が窺われた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 即改善できることについては改善しているが、口頭で伝え話し合いに止まった項目については進捗状況が十分ではないものがあるので、今後も引き続き取り組むことを望む。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員が評価についての意義は理解しているが、今回の評価にあたり自己評価表の内容について事前に話し合う事はなく部分的(項目によって)に職員に聞き、管理者がまとめている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営状況、行事報告、活動報告、外部評価報告等を事業所から行っている。外部評価結果を全委員に渡し見てもらったがそれに対する意見などは聞かれなかった。出席の地区会長より「地区の肥料があるので事業所の畑に利用したらいいので取りに来るように」との記録が残っていたりする。諸事に亘り双方向的な意見交換が記録されている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族からの意見や要望は面会時や電話また行事の際に家族間の話し合いなどで聞かれるが概ね口頭で返答することで家族は納得できている。要望内容によっては、法人側で検討中のももある。出された要望、意見について運営面に反映されサービスの質の向上に繋げる体制ができています。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近隣の小学校との交流など見られるが一部であり、また運営推進会議を介して地域の住民との交流は図られているが、日常的に地域住民との連携があるとは言いがたい。地区会長から宮の大祭参加の誘いがあり利用者共に参加するなど見られるが、自治会には加入しておらず緊密な連携は図られがたい。今後災害対策についても地域住民と推進していく必要がある。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔これまでの理念に新たに地域密着型サービスに対応した文言を追加している。〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔毎朝の申し送りや毎月1回の職員会の際には話し合い再確認をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 〔職員は言葉かけに特に留意し、訴えの少ない利用者の意を汲むよう心がけ、その人らしい暮らしができるよう理念を共有し取り組んでいる。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔自治会には加入していない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔自治会長（運営推進委員）から地区の活動情報は入手できており、水路の清掃や地区の神社の大祭などにも参加している。〕	<input type="checkbox"/>	地域の自治会に参加し地域住民の一員として活動することを期待する。そのことで地域の情報も洩れなく入手でき住民とより多くの接点をもてる結果に繋がるので加入されたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔評価の意義については理解しているが、今回の自己評価にあたり職員から部分的に意見を聞き管理者が纏めるなど、全職員が自己評価全般を見ていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔前評価については、職員会で改善すべき点について話し合いをし即改善できる事項には取り組みが出来たが、他は口頭の処理に止まり改善計画を作成していない。〕	<input type="checkbox"/>	職員全員で自己評価に取り組み、評価後の課題に対する取り組みを職員全員で明確に共有して、同じ方向で実施遂行していくように期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔事業所から行事などを中心に報告し、各委員(地区会長、家族など)からも活発に意見のやり取りが出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔評価結果を全委員に配り、課題の改善に向けて話したが特に意見はなかった。〕		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔運営推進会議や行政への書類等の提出時の問い合わせ、また行政、地域包括支援センターから入居希望者の情報や包括センターを介して利用している方の状態を電話で話し合うなど交流を図っている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔来訪時には必ず居室または職員室で話し合いを持っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔月1回発行の「せんだんの里便り」には近況報告の枠と職員からのメッセージ欄に担当の職員が一笔添えて伝えている。写真はアルバムにしてクリスマスプレゼントとして家族に贈っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔即電話連絡をしいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔毎月事務所から発送する書類に1ヵ月分の領収書のコピーと出納帳のコピーを送付している。また来訪時に出納帳に確認印をもらっている。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔年4回の家族会は四季の行事の日に設定し、1時間程度の会をした後で、家族間の交流をするようにしているので意見も出ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔介護に直接関わる苦情はこれまで少なく口頭で納得が得られるものだが、ユニット間に「通路を作って欲しい」の意見があり、法人として現在検討中であるとの事である。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔管理者、計画担当者の交代があったり、職員の法人内の異動もみられ馴染みの職員が継続的に支えているとはいいい難い。〕 <input type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔職員への異動の発令は1ヶ月前に出されるが、引継ぎ期間を十分に取っての交代とはなっていない。利用者の一時的動揺がみられることもある。〕	○	法人内の異動にはメリット、デメリットも考えられ、やむを得ないこともあるが、利用者には最も辛い出来事であったりする。そのため落ち着きを無くし混乱を招くこともあるので、異動は極力減らし、異動の際には引継ぎ期間を十分取るなど工夫することを望む。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔今年度は、外部研修は少ないが法人内では在宅教育部を置き全職研修、技術部門の研修など計画的に活発に実施しパート職員も同様参加している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔内部、外部研修を問わず報告書を提出し毎月の職員会の際に報告会を行っている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔両方に加入し、交流を図りサービスや職員の質の向上につなげている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔連絡会のメンバーや同法人で複数のグループホームを運営されていて、交流は常に図りながらお互いサービスや職員の質の向上を心がけ研鑽されている。〕		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔入居希望者についての情報は、入所前にその時の担当者、家族、本人などから入手し基本台帳に纏めており把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔本人と家族と一緒に見学に来訪している。〕 <input type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔 〕	○	入居するまでには来訪時など職員も関わりはあるが、面接の際には職員も含め2名で面談することで多面的に違った角度で多くの情報を得ることが出来る。そのことは利用者にとって安心感を与え親しみのあるサービスに繋がることになるので対応を望む。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔会話の中で本人の得意なことを引き出し、調理法を教わったりと様々な場面での言葉がけを大事にしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔利用者ができることへ参加の場面は多々あり、教え教えられ和やかな雰囲気の中で自然に支援している。(テーブル拭き、お盆拭き、食器洗い等)〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔職員が花瓶に棕櫚を生けた時それを見た利用者が「蠅打ち」に仕上げたり、戦争の話、釣りの話、となり町に山越えたことなど、体験した話から知恵を教わることが多い。〕		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔日頃からコミュニケーションの中で、希望、やりたいことなど聞き取る努力をし、希望が実現または解決できるよう支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔表情や振る舞いから察知できることも多いが、家族の来訪時には情報を得てい		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔家族の来訪時や電話連絡の際には要望や気づき等を聞くが、新たな意見などがあまり聞かれない。当初の要望や本人からの希望を大切に考え計画の立案をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔 〕		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔長期6ヶ月、短期3カ月の期間設定で見直しされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔家族からの要望は少ないが、聞かれた場合や心身の状態の変化に即して、随時見直しをしている。〕 <input type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕	○	2パターンの基本的な設定になっているが、時には短期で見直しを設定する方が望ましい目標であったり、3か月より短期の設定で随時見直しすべき内容があり得るので、柔軟な期間設定をすることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔月2回の協力医療機関からの往診、訪問看護の定期訪問等が実施され、医療処置を受けながら安心した生活が継続できるよう支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔重度化した場合でも介護サービスを提供できる範囲で対応し、看取りの指針も作成している。しかし体制はあるがこれまでに実践は無い。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔外出、通院送迎など家族の状況や要望に応じて柔軟に支援している。希望でふるさと訪問を実施したり家族の送迎で外泊をしたりしている。〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔入居時に家族と話し合い、眼科などは継続し、その他、希望の医療機関で受診を支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔事業所に対応した場合は電話で結果等を伝え、家族同伴の場合には帰所の際に口頭で投薬などの伝達をしている。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔終末期の対応については看取りの指針もあり、入居時に家族に説明をしているが、状況の変化に伴い家族、医師、職員などと話し合いをもっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 〔終末期には医師が、家族の意向を確認のため再度話し合い、職員とも連絡を取って家族の納得のいく最期を迎えられるよう取り組んでいる。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 〔職員は理念と介護の基本姿勢を忘れずに、さりげない声かけや対応をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔職員は外来者や他の家族に対して利用者のプライバシーに関する話を話したりすることが無いように周知徹底している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔毎月の職員会では必ず話し合いをし徹底するように努めている。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔買い物、散歩の日など日程が組まれているが、夏場の外出は避けるなどある種の制約も見られるなど個別に柔軟な支援が行われているとはいえない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔食事時間や入浴時間など個人の希望する時間に合わせたり、食事の場所も居室を希望する場合にも対応している。〕	○	利用者の自発的な意思決定の表現が少ないとの理由もあるが、高齢者は概ね外出の意欲はあまり見られないことが多い。その人らしい暮らしを考えると生活歴を踏まえ意欲を引き出したり活動を思い起こさせる働きかけも重要なことである。
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔利用者ができることは、一人ひとりの能力に応じて意志や気持ちを大切に考え、職員と一緒に楽しみながら支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助の止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔職員も一緒にテーブルでさりげなく目配りをしながら同じ食事を和やかに食べている。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔概ね2日に1回全員が入浴している。毎日の希望者もあり対応している。職員の勤務体制は無理のないよう工夫している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔入浴拒否を固く続けておられる方が1名おり、清拭で身体の清潔を保持される。身体の清潔は保たれているが、入浴から与えられる爽快感や解放感など清拭では得られない心身に与える効果を思うと何らかの原因があることではあるが方法を工夫しながら気長く誘いその気になってもらえるよう努力することを望む。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔生活歴の把握、本人とのコミュニケーションの中で知れた情報、入居後の家族等からの情報を積み重ねるなど把握に努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔食事の準備、モップ掛け等の家事、その他、短歌を短冊に書いたり活け花を楽しむなど経験を活かした楽しみごとで過ごしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔男性には行事の際に、模様替えにテーブルの移動を手伝ってもらったり、新聞紙の整理をしてもらうなど利用者の能力に応じて役割などを見つけ声をかけている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔外出の個別の対応が困難で美容室や喫茶など行く時には家族が対応している。〕 <input type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的にやっている。 〔前の学校に兎を見に行ったりもしているが、2週間に1回程度である。〕 <input type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔利用者が日常的に外出する機会を設け対応される場面が少ない。〕	<input type="radio"/>	年間行事としてドライブ等も実施しているが、外出を希望する利用者が少ない。その理由で実施しないのではなく、個別にも外出の楽しみを思い起こせるよう積極的に声を掛けられたい。外出して利用者、介護者双方が得られるものを(心身に与える影響)理解して困難ではあるが何とか機会を多く作り出せないものか職員で話し合いを十分され検討されることを期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔無断外出をする利用者の行動パターンを把握しており、時には距離をおいて見守ったり傍に付き添うなど対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔グループホームに面した通りの地域の人々の協力は得られる。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔 〕	○	行政で実施している防災訓練には利用者も含め参加している。また夜間呼集訓練等施設内では実施している。特に災害時の避難のありようは結果に明暗を分けることになることが多い。身近な地域住民の理解、協力を得て参加を願うと一緒に訓練を実施するよう、また非常用食料、及び備品などの準備を早急にされたい。

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔毎日の水分・食事摂取量などをチェックし把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔栄養士が作成した献立を職員が利用者の嗜好を組み入れ、手直しをするなど配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔法人の栄養士が週1回チェックしている。〕		
----	----	---	---	--	--

2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔リビング兼食堂の家具類はその場所に馴染んだものであり、使い心地も配慮しての空間になっている。風呂場なども整理整頓され調理場も清潔に使われている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔利用者の行事の際の写真など廊下の壁に飾ったり、隣接する小学校、幼稚園児からのプレゼントも貼られているが仰々しさは見られずアットホームな感じである。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔リビングの広いガラス戸から自然の秋の風情を感じられる。調理場から煮炊きの匂いや包丁の音が聞こえ食膳には芋飯があり、この時期ならではのものである。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔筆筒、椅子、仏壇、家族の写真をはじめ数冊のアルバムや置時計、ペン立て、色鉛筆などその人を想わせる持ち物もあり、居心地良い居室作りに配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔転倒の危険性のある利用者には和室の設え、小学生などからのプレゼントを飾りややかな雰囲気作り、職員手作りの布製草履を用意するなど(足背浮腫)の配慮も見られた。〕		